

議案第12号

平成28年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価について

上記の議案を提出する

平成29年8月16日

鳥栖市教育委員会

教育長 天野 昌明

(提案理由)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、平成28年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、公表する必要があるため、鳥栖市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し、又は臨時に代理させる規則第2条第20号の規定によりこの案を提出する。

議案第12号 資料

平成28年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価報告書について

1 根拠法：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条

- ・教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- ・教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を図るものとする。

2 点検・評価の対象

- ・教育委員会会議と教育委員の活動状況
- ・鳥栖市教育プランに掲げる12施策および主な取組

3 点検・評価の方法

教育委員会による自己評価及び学識経験者2名（福岡女学院大学教授伊藤文一氏、西九州大学教授香川せつ子氏）による外部評価を実施

4 評価の経緯

平成29年4月定例教育委員会	点検評価の進め方、学識経験者候補について承認
平成29年5月中旬	学識経験者への外部評価依頼
平成29年5月下旬	自己評価の実施
平成29年6月定例教育委員会	点検評価報告書（自己評価案等）の協議
平成29年6月27日	学識経験者による鳥栖北小学校視察
平成29年6月27日	学識経験者への自己評価等の内容説明
平成29年7月中旬～	外部評価の実施、点検評価報告書（最終案）の作成
平成29年8月定例教育委員会	点検評価報告書（最終案）の審議

5 点検評価報告書（最終案）

別冊のとおり

6 今後の予定

平成29年9月

市議会に報告書を提出・市ホームページにて公表

7 外部評価における主な指摘

(1) 教育委員会会議と教育委員の活動

- ・市民が教育委員会の恩恵や存在意義を感じられるような活動をしてはどうか。
- ・取組みが具体化する前に教育委員会の議論を重ねることが必要。

(2) 鳥栖市教育プランに掲げる事業

【小中一貫教育】

- ・保幼小連携の視点が必要。幼児期の教育にも積極的に関与すべき。
- ・幼稚園教育要領を意識して教科「日本語」に取り組み、保育園・幼稚園と小学校の交流に活用できないか。

【外国語教育】

- ・英語教育と教科「日本語」の連動を期待する。
- ・英語嫌いの小学生をつくらないための工夫を望む。
- ・現場の教師は多忙であり、日常業務に加えての英語の学び直しには困難を伴うのではないか。

【教科「日本語」】

- ・語彙力に重点を置いた授業や子どもたちの日常生活への浸透に感心した。
- ・核となる教諭の各校への配置ができればより望ましい。
- ・教科書は今後も現場等の意見を聴きながら改訂を重ねてはどうか。

【学力向上】

- ・中学校の放課後補充学習では、真に必要とする対象者を拾うための働きかけが必要。

【子どもの読書推進計画の策定】

- ・読書好きの子どもを育てる教育のため、教職員への研修も必要ではないか。
- ・各種図書館のネットワークづくりを盛り込んでどうか。
- ・図書館を利用する高齢者を語り部ボランティアとして活用すると、図書館が世代間交流の場となる。

【人権・同和教育】

- ・参加者のライフステージや生活状況に応じた、関心が高いテーマの選択が肝要。
- ・学校教育と社会に出てからの教育がつながることを意識すること。

【生涯学習】

- ・定年退職後の世代をターゲットとして取り組んではどうか。